

～奥浦だより～

よかところ！おくら

2月号



- もくじ
- おくらの果実図鑑 八朔
- イノシシ被害と対策について考える
- 『おくら夢のフラワーロード』 スイセン
- 民泊体験 筑後市青少年体験事業
- 体験型観光講習会開催
- お知らせ
- ★第14回五島市民駅伝大会
- ★宅配・送迎の買い物支援

お知らせ

第14回五島市民駅伝大会

～タスキをつなごう ところをつなごう～

開催日
平成30年2月18日(日)

1月16日(火)・18日(木)の両日、市民駅伝大会に出場する選手の記録会が、中央公園陸上競技場で行われました。

16日は午後から天候が崩れ、雨の中の記録会でした。

18日は、数日前の雪や雨が嘘のように天候も回復し、とても走りやすい記録会になりました。

走る前は、自信なげにアップを行っていましたが、いざ走ってみると、普段の自主トレの成果がタイムに出てたようです。

皆さんの、市民駅伝に対する熱い思いが伝わってきました。

大会までもう少し、優勝目指してがんばれ!!



男子：14時00分スタート ＝スタート地点＝	女子：14時35分スタート(予定) ＝スタート地点＝
1区：貞方酒店前横断歩道	1区：崎山出張所前
2区：本山出張所前	2区：みはらし荘入口
3区：野々切グラウンド	3区：給食センター前
4区：鏡瀬東駐車場	4区：八幡神社先
5区：崎山出張所前	5区：五高グラウンド前
6区：給食センター前 市役所本庁玄関前ゴール	市役所本庁玄関前ゴール

団結式 2月18日(日) 10:00～
奥浦地区公民館2階ホール

宅配・送迎の買い物支援

★買い物送迎支援 お店での買い物時間は1時間。ゆっくり買い物ができます。(協賛金500円/1回)

★買い物宅配支援 (週1回の宅配) 木曜:注文 → 金曜:配達 (登録料500円/月)

	2月6日・20日	3月6日・3月20日	4月3日・4月17日
第1・第3火曜日	【午前】 ・榎ノ浦	榎ノ浦アコウ前 9:30 発	シーモール・バリュー 9:50 着 9:55 着 11:05 発 11:00 発
	・浜泊 ・大泊 ・南河原	川口さん宅前・浜泊公民館・大泊公民館・そうず・南河原展望所・南河原公民館・中村さん宅前 10:15 発 10:18 発 10:30 発 10:33 発 10:36 発 10:38 発 10:40 発	・シーモール 10:55 着 12:04 発
	【午後】 ・嵯峨瀬 ・奥浦	嵯峨瀬漁港入口・奥浦出張所・栄林寺 13:30 発 13:41 発 13:42 発	・バリュー 11:00 着 12:00 発
第1・第3水曜日	【午前】 ・浦頭 ・平蔵	鍋内バス停付近・赤尾さん宅前・浦頭公民館・木の口バス停・平蔵バス停・今村製油所前・大方バス停 9:25 発 9:31 発 9:33 発 9:34 発 9:36 発 9:38 発 9:40 発	シーモール 9:55 着 11:10 発
	・戸岐 ・戸岐向 ・堂崎	鍋内バス停付近・赤尾さん宅前・浦頭公民館・木の口バス停・平蔵バス停・今村製油所前・大方バス停	バリュー 10:00 着 11:05 発
	【午後】 ・半泊 ・観音平 ・宮原	戸岐バス停・海鮮直売所前・堂崎公民館 10:25 発 10:29 発 10:34 発	・戸岐バス停 ・海鮮直売所前 ・堂崎公民館
		半泊教会前・観音平バス停・宮原公民館 13:30 発 13:41 発 13:45 発	・宮原公民館 ・観音平バス停 ・半泊教会前館

おくらの果実図鑑

八朔

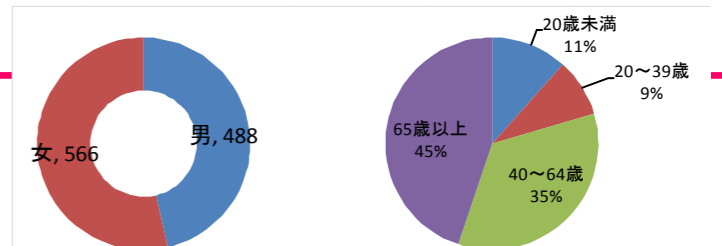
奥浦でも、多くの柑橘系の果実を、家庭の庭先や畑で目にしますが、2月は八朔が旬とされています。八朔には、ビタミンCが豊富に含まれていて1個食べれば、1日に必要なビタミンCが獲れてしまうほどです。苦味の成分であるビタミンPは、高血圧予防、がん予防に◎。また皮には、活性酸素を抑制する抗酸化作用があります。無農薬の八朔なら、皮をジャムにしても良いかもしれません。八朔は、色が明るい橙黄色で、茶色い部分がなく、ヘタの部分が緑色の物、手に取ったときずっしりの重みのある物を選びましょう。香りも重要で、さわやかな香りの中に甘い香りがあるか確かめて下さいね。

奥浦地区の人口

(H29. 12. 31現在)
総数/1,054人
(-2)
前年12月末:1,080人
世帯数:600世帯
(±0)
※()は前月比

平均年齢:57.8歳
高齢化率:44.88% (+0.09)

- 20歳未満:123人 (-1)
- 20~39歳:92人 (+1)
- 40~64歳:366人 (-2)
- 65歳以上:473人 (±0)



奥浦地区人口の割合

イノシシ被害と対策について考える



1月17日（水）奥浦地区公民館2階ホールで、各地区の町内会長、生産者の方々、五島市振興局、合同による『イノシシ被害と対策』についての協議が行われました。



まず振興局より、五島市及び奥浦地区において、イノシシ被害による近年の状況報告と対策についての説明があり、その後、生産者の方々からも、生息域の拡大、食害や踏み倒し、掘り起こしなどの被害が拡大している現状の情報提供、それに伴う、街中への出没、人身事故に対する懸念の高まりを問題提起されました。

この様な状況を踏まえ、奥浦地区全体で『イノシシ被害対策』へ取り組むために、各地区の町内会長へ協力を仰ぎました。



今後の取り組みとして、住民へのイノシシ対策の周知はもとより、捕獲従事者の確保・育成、捕獲隊の拡大も行っていく予定です。

イノシシ対策マニュアル



- ①イノシシが嫌がる環境をつくる<棲み分け対策>
 - ☆ 畑の周り等は2、3m刈り払う（隠れ場所を取り除く）
 - ☆ 生ゴミを放置しない・農地内に未収穫物を放置しない
- ②農地を効果的に囲う<防護対策>
 - ☆ 金網フェンス・ワイヤーメッシュ・電気柵
- ③適切な捕獲を行う<捕獲対策>
 - ☆ 狩猟免許の取得
 - ☆ 捕獲用具（箱わな、囲いわな、くくりわな）の導入

おくら夢のフラワーロード



昨年末、植樹祭を行った桜の木の周辺には、スイセンの球根も植え付けをされています。

桜の見頃にはまだまだの様ですが、スイセンのつぼみは、少しずつですが膨らみ始めています。

早いものは、花も咲きだしていますよ。

寒い日が続く、春はまだ先の様ですが、1月11日（木）、12（金）の大雪にも耐え、スイセンはしっかりと春の準備を行っているようです。

天気の良い日は、春の訪れを感じに出かけてみませんか？

場所：県道河務線福江線沿い
（奥浦棧橋付近～旧慈恵院跡地下～堂崎天主堂入口）

民泊体験 筑後市青少年体験事業



12月24日（日）から27（水）、筑後市より、4つの小学校、1つの中学校から集った、小学生10名、中学生2名の児童、生徒の皆さんが、3泊4日の民泊体験で奥浦を訪れました。

24日は到着後、奥浦小学校の児童と奥浦地区公民館で交流会を行いました。自己紹介の後、互いのふるさと自慢を、クイズやかるたにして出し合い、それぞれの地区の特徴を学んだ後に、筑後市と奥浦地区の混合グループで、班対抗の「方言文章づくり対決」を行いました。

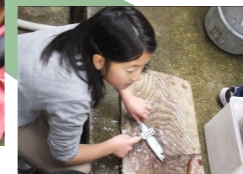
それぞれの方言を、上手に繋ぎ合わせ、文章を作るゲームでは、最初苦戦していましたが、徐々に色々な意見が出てきて、学校や家庭での光景を垣間見る文章が出来ました。

最初はぎこちなかった子ども達も、約2時間の交流会では時間が足りないくらいに打ち解けていました。

26日の体験活動では、波止釣りで自分たちが釣った魚をさばき、昼食にしたり、農業収穫体験で採った野菜を使い、鍋を作って食べたりしました。

積極的な子ども達が多く、魚さばきや野菜の収穫も、楽しそうに取り組んでいました。

受け入れ先の皆さんも、中高生の修学旅行時の受入とはまたちょっと違うかわいさに、「みじよか〜」「みじよか〜」を連呼していました。



体験型観光講習会開催



1月20日（土）五島市役所本庁で、市全体の体験交流事業の活性化を図るため、株式会社体験教育企画の藤澤安良（ふじさわ やすよし）社長を招き、講習会が行われました。

講習会には、五島市内10地区より約90名の民泊会員の方々が集り、『体験型観光と民泊受入で地域に元気と心の豊かさを』について学びました。

五島市で、多くの割合を占めている修学旅行生を対象とした民泊ですが、近代化が進む現代社会において、『なぜ民泊が必要なのか、民泊が果たす役割とは』を、ユーモアを交えおもしろおかしく、分かりやすく講演して頂きました。

何もかも、便利な世の中で育っているとされている子供たちだが、あまりにも便利すぎて、根本的な物が欠けている。

そのためには、体験型宿泊施設『民泊』の活用が、重要かつ必要であるということを確認しました。

その後、場所を変え五島市体験交流フォーラムも実施され、他地区の方々と意見の交換も行い、交流を深めることで、奥浦地区以外の情報を得ることが出来たようです。

